

2017年

3月 市民公募委員サロンだより

平成28年度第2回市民公募委員サロンを開催しました。



開催目的

京都市では、市政に対して有識者等から専門的な意見をお聴きするとともに、多様な市民の皆さんの意見を取り入れるため、様々な附属機関等を設置しており、多くの市民公募委員の方に委員になっていただいています。

この度、市民公募委員の皆さんを対象に、委員としてもっとやりがいを感じるにはどうすればよいかを一緒に学び、交流する「市民公募委員サロン」を開催しました。

主催：市民参加推進フォーラム（京都市の市民参加を推進する附属機関）

- 対象：京都市の附属機関等の市民公募委員の皆様
- 日時：平成29年3月15日（水） 午後6時45分から午後9時まで
- 場所：東山いきいき市民活動センター 2階 集会室
- 内容： 第1部 パネルディスカッション「市民公募委員と暮らしのつながり」
第2部 グループ交流（5つのテーブルに別れて。テーブル替え1回）

参加者

40名

- ・市民公募委員 16名
- ・京都市職員（一般参加） 5名
- ・市民参加推進フォーラム委員 12名
- ・市民参加推進フォーラム事務局 6名
- ・ファシリテーショングラフィック 1名

参加型パネルディスカッション 「市民公募委員と暮らしのつながり」

【パネリスト】 岡元麻有氏

「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」

「京都市京町家保全・活用検討委員会」市民公募委員

- 母親でもあり、町家のギャラリーの館長でもあり、大学とのつながりもある。もっと社会とのつながりが欲しかったこともあり、興味がある2つの附属機関に応募した。
- 町家と大学は、私にとって衣食住に関わるものであり、関係する附属機関に参加し、いろんなことを知ることが、生活や仕事に直接つながっている。
- 町家の専門家である他の委員の方と知り合えて、仕事の相談をできる方が増えた。

【パネリスト】 内藤隆文氏

「学校運営協議会及び学校評価に関する検証委員会」
市民公募委員

- 息子の小学校の先生が、心神喪失で辞められた。先生が健全であるからこそ生徒も健全となる思い、学校評価に関わりたと思った。
- PTAの会長や少年補導委員などをしている。子どもは頑張ってる親や先生の背中を見て頑張るものと思っている。子供たちのためにも、委員として先生や学校の頑張りを外に伝えていきたい。

【パネリスト】 荒木泰子氏

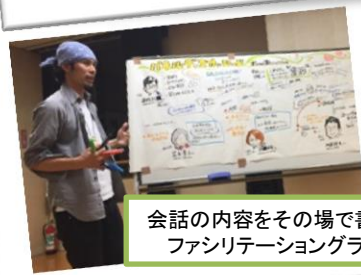
「市民参加推進フォーラム」委員

- これまでずっと京都市民で、教師をしてきた。また、町内会などにも関わってきた。
- 私のように、仕事を終えた普通の市民の声を行政に届けたい。市民公募委員になれば、それができるということをもっと知ってほしい。

【司会】 兼松佳宏氏

「市民参加推進フォーラム」委員

- 私は昨年に京都市に引っ越してきた。普段、市民としての自覚が湧きにくいのが、附属機関の委員として参加すると、京都市民であるという自覚が生まれる。



会話の内容をその場で書きとめる
ファシリテーショングラフィック

グループ交流

グループ交流①
5グループ 25分

席替え

グループ交流②
5グループ 25分

全体共有
10分



市民参加の輪を広げるには

公募委員になってみて

市政やまちづくりに関わりたい人は実はもっといるはず。

公募委員はやりがいがあるのに、なぜもっと広がらないんだろう？

肩書のない一市民としての発言だからこそ意味がある！

自分の思いを伝えたいと思いパブリックコメントを出してみた。

この場に知り合いを連れて来れたら、参加の輪がもっと広がるんじゃない？

市民の皆さんとの接点を大切にしたい。現場の声を聴きたい。(市職員参加者)

市政やまちづくりを「自分ごと」として捉えることが大事だね。

「この会議は何を決めるところ？」と初歩的な質問をしてもいい。

こうなればと思うことを実践できる附属機関があることを知った。次回はそこに応募しよう！

来年度は、もっと積極的に発言しよう！

みんな、働き方や事情もいろいろ。誰でも参加できる仕組みを考えないと。

市民もネットワークをつくって、まちづくりの情報を発信することが大事！

会議では、まずは発言することが大事！

「市民公募委員サロン」アンケート（回答数15）

○参加の動機

- ・他の附属機関の温度を感じたかった。
- ・他の公募委員の方と話してみたかった。
- ・どんな附属機関があるのか知ってみたいと思った。
- ・前回参加できなかったので！

○参加してみて良かった点

- ・ほどよいゆるゆる感があり、話しやすかった。
- ・教育問題で興味のある話ができた。
- ・いろんな人に出会えた。
- ・他の委員の悩みを聞いた。
- ・ファシリテーショングラフィックがあって分かりやすかった。

○参加したが改善した方が良い点

- ・市民公募委員になりたいと思っている人も参加できればよい。
- ・目的がわかりにくい。
- ・時間が足りない。
- ・あまり話せなかった人もいた。

○参加後の心境の変化や抱負

- ・他に参加したい附属機関が見つかった。
- ・視野を広める良い機会になった。
- ・大変熱心な方々が多い事に感心した。
- ・市政への興味を持続けたい。
- ・一步一步前進できる様頑張る。
- ・前向きに市政に関わっていこうという姿勢を目の当たりにして、責任の重さを感じた。

○今後も参加したいか

○参加したい（15名）

- ・視野が広がる。
- ・まだまだいろんな人と話をしたい。
- ・いろんな人と交流できた。
- ・もっと公募委員サロンを開催してほしい。
- ・大きなイベントではなくても小さな集まりがあったら参加したい。